本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3－2－95	電話 大阪 06(586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	電話 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	電話 高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1－8－2	電話 神戸 078(360)3100
京都支社	〒604	京都市中京区扇丸御池梅屋町358	電話 京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－5	電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4－8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6－57	電話 豊岡 0796(23)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680－1	電話 草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	電話 彦根 0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526	長浜市南呉服町3－4	電話 長浜 0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4－1－2	電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

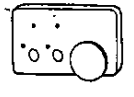
「おねがい」

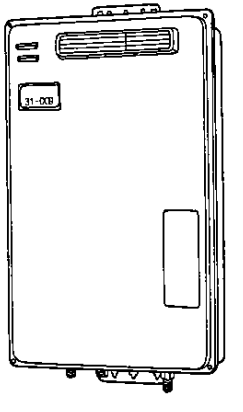
ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

ガス風呂釜

31-009型

型式名 TP-A120JR





取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせてください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

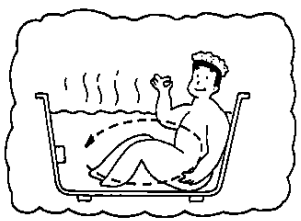
もくじ

- ごあいさつ・もくじ…… 1
- 特長・機能の紹介…… 2
- 必ずお守りください…… 3
- 各部の名まえと扱いかた…… 6
- 初めてお使いいただくときに…… 8
- 使用方法…… 9
- 点検・お手入れ…… 16
- 故障かな?と思ったら…… 18
- 寸法図…… 20
- 仕様…… 21
- 保管とアフターサービス…… 22

特長・機能の紹介

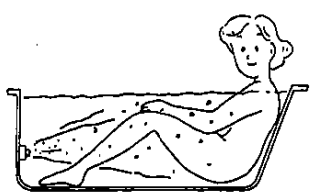
はじめまして。
ガス風呂釜31-009型は次のような特長をそろえました。
ぜひ、快適な「お湯のある暮らし」にお役立てください。

■沸きあがりは上下の温度差がありません。だから、かきまわす必要はありません。

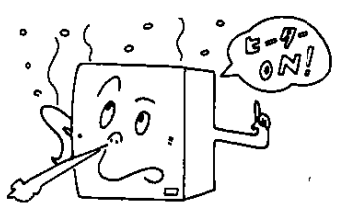


■湯温のみはりは機器におまかせ。
(10ページ参照)

■気泡浴が楽しめます。
(12ページ参照)



■冬期、気温が下がると自動的に作動し凍結を予防する装置が組み込まれています。(14ページ参照)

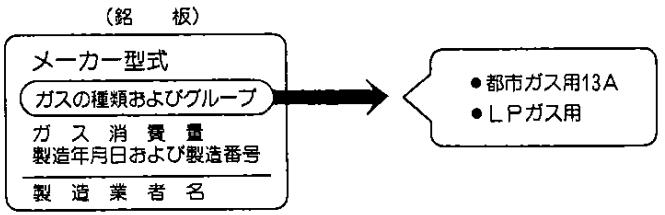


必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

●器具前板の銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。



●ガスの種類には、都市ガスとLPガスがあります。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

■使用電源についてのご注意

●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。
この器具はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

■用途についてのご注意

●風呂沸かし以外の用途には使用しないでください。

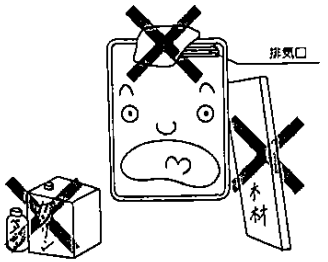
■器具設置についてのご注意

●器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

■使用上のご注意

■火災予防

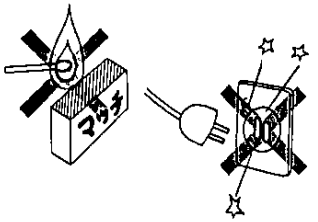
●器具の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、近くで揮発性の薬品等を使用しないでください。特に排気口は洗たく物などでおおわないでください。



■ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガスせんをしめ、お買い求めの販売店、または、大阪ガス支社にご連絡ください。

(注)係員が処置するまでは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。

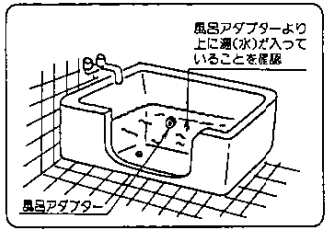


■やけどのご注意

●使用中および消火直後は、排気口やその周囲が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

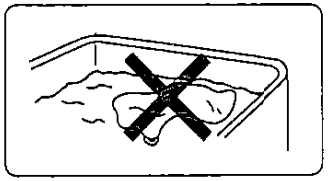
■空焚き防止

●「わかす」スイッチを押すときはかならず浴そうの風呂アダプターより上に湯(水)が入っていることを確かめてください。



■入浴時のご注意

●浴そうの風呂アダプターをタオル等でふさぐと循環不良となりますのでおやめください。



■気泡入浴についてのご注意

●気泡運転中に噴出ノズルをふさぐと、器具の下部から水があふれます。気泡運転中は噴出ノズルをふさがないでください。

●噴出ノズルから勢いよく湯が噴出していますので、小さなお子様が噴出ノズル付近にいるときは、ご注意ください。

●気泡浴は、熱いおふろに入ったときと似た効果がありますので、お湯の温度には注意してください。

●長時間気泡浴をするとのぼせたり、かえって疲れを感じたりすることがあります。

●気泡運転をすると若干おふろがさめやすくなります。(特に冬期)

●妊産婦、心臓に障害のある人は医師にご相談ください。

●噴流を目や耳に当てないでください。

●湯あかや、毛髪がつまると気泡の噴出が弱くなります。浴そうをおそうじするときはフィルターもそうじしてください。(17ページ参照)

■凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがありますので凍結のおそれのあるときは４ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

- 器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。（有料）
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。

■異常時の処置

- 万一、ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元せんを閉めてください。（18ページ「故障かな？と思ったら」にしたがって処置を行なってください。

■雷が発生しているときのご注意

- 激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。

■雷が鳴った後、器具が作動しないとき

- 落雷の際、各ランプが点灯しない場合は器具内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを１度コンセントから抜き、再度差しこんでください。それでも使用できないときはお求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

- この器具は停電時には使用できません。

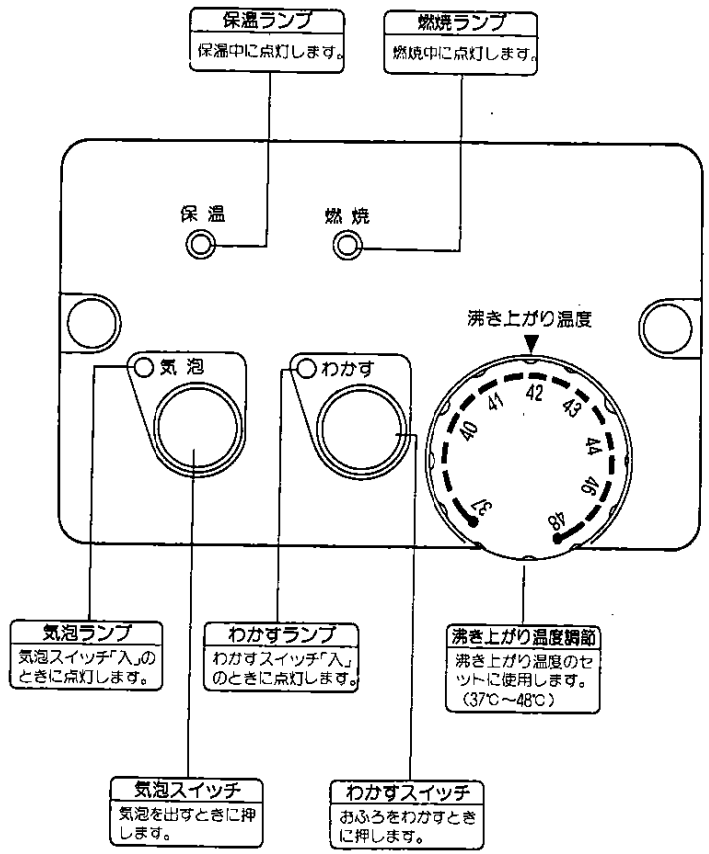
■日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。（詳しくは16ページをごらんください。）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

■入浴剤や洗剤についてのご注意

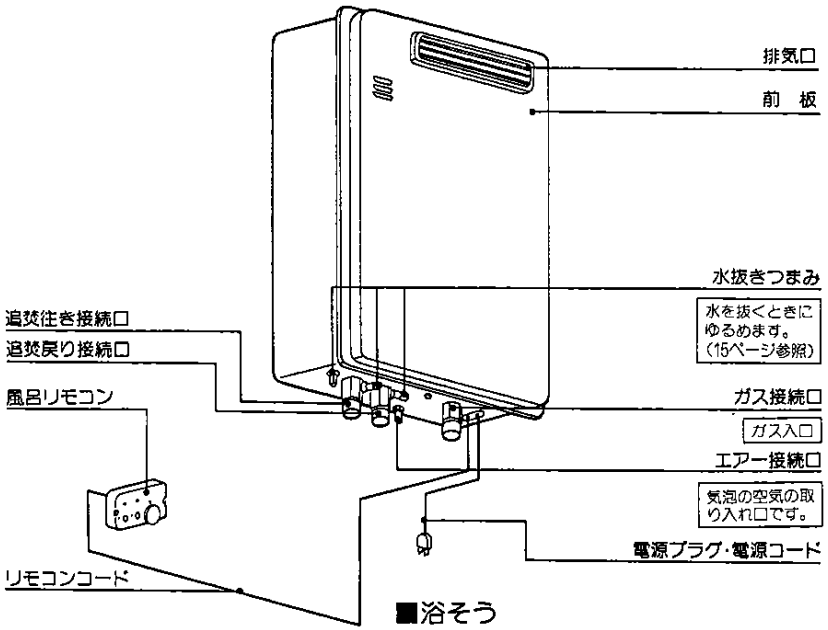
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、性能の低下および熱交換器が腐食する原因となりますので入浴剤や洗剤の成分や説明文を確かめてからお使いください。
- 気泡用入浴剤（気泡調整剤入り）は使用しないでください。

■風呂リモコン（浴室についています）

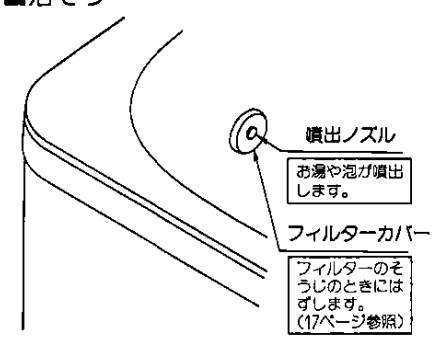


ガス風呂釜の各部の名称とはたらきをご紹介します。

■器具本体



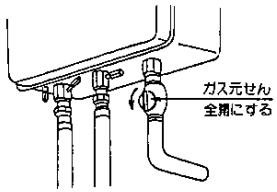
■浴そう



1 初めてお使いになるときはまず……

(1) ガス元せんを全開にします。(器具の下部)

(2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。(器具付近の壁)

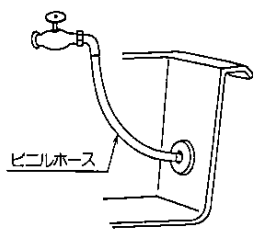


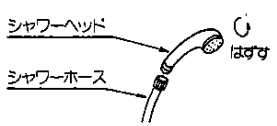
2 呼び水を行ないます。(ポンプの水抜きを行なった場合)

(1) 浴そうの風呂アダプターの噴出ノズルにビニルホース(市販品：呼び15mm)を差し込む。

(2) 水道水を流し風呂アダプターから水が連続的に出るまで呼び水を行なう。

- 水道水を勢いよく流しますと、器具の下部から水が流れることがありますが、故障ではありません。
- 浴そうの近くにシャワーがあるときは、シャワーのヘッドを外し、シャワーホースで水を流しこんでください。

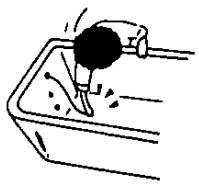




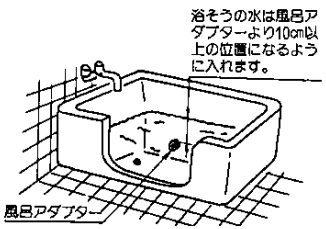
ご注意
- 浴そうの風呂アダプターより上に湯(水)があるとき操作してください。

1 運転前の準備をします。

(1) 浴そうの排水せんは、水漏れのないようにしっかり差込みます。



(2) 浴そうの水は、必ず風呂アダプターより10cm以上の位置になるように入れます。

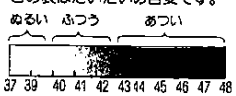


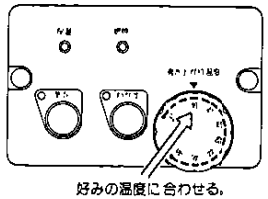
(3) 最後に浴そうにふたをします。

2 おふろの沸き上げ温度をお好みの温度にセットします。

(1) 温度調整つまみをお好みの温度にあわせます。

お湯の温度には個人差があります。
この表はだいたいの目安です。

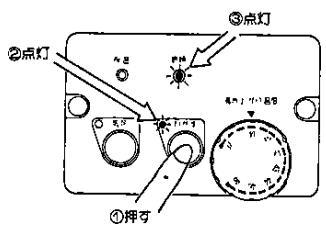




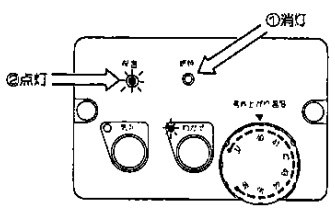
- 約37℃～約48℃の範囲で調整できますが、表示の温度は、目安としてお使いください。

3 「わかすスイッチ(桃色)」を押します。

(1) 「わかすスイッチ(桃色)」を押すと、「わかすランプ」が点灯し、しばらくして、「燃焼ランプ」が点灯します。



- セット温度まで沸き上がると「燃焼ランプ」が消灯し、「保温ランプ」が点灯します。「わかすランプ」は、点灯したままです。



- この後は自動的に約4時間、湯温を保ちます。(「保温ランプ」はそのまま点灯)
  この間は30分ごとにポンプがまわり、湯温を検知し、湯温が下がっていると自動的にセット温度まで沸き上げ、保温します。(ときどき「燃焼ランプ」が点灯します。)
- 4時間経過すると「保温ランプ」、「わかすランプ」は消灯します。

■沸かし直し

●前日の残り湯を沸かし直したいときは、「わかす運転」とまったく同じ手順で行ないます。

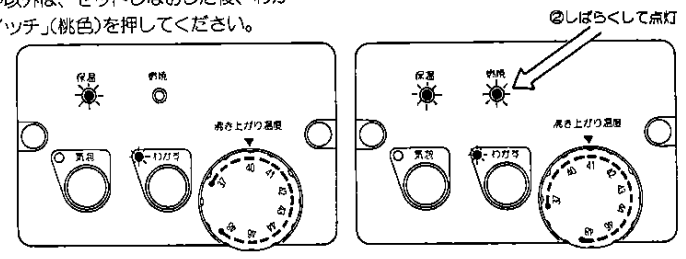
■追いだき運転

●セットされた湯温で保温中のとき、もっと熱くしたい場合に操作します。

1 温度調整つまみを現在セットされている温度よりも2目盛以上高めにセットしなおします。
(例：40℃から2目盛高くする➡41℃)

●保温中以外は、セットしなおした後、「わかすスイッチ」(桃色)を押してください。

●しばらくして「燃焼ランプ」が点灯します。



40℃で保温中(例)　①再セット〔41℃(例)〕

ご注意
●浴そうの風呂アダプターより上に湯があるとき操作してください。

2 お好みの湯かげんになったら「わかすスイッチ(桃色)」を押します。

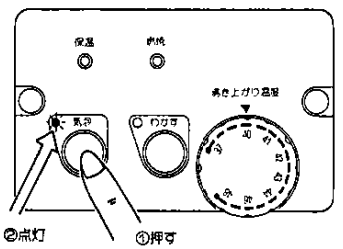
〔わかす運転停止の操作をしない場合は、再セット温度に沸き上がり、自動停止します。この場合、再セット温度で保温します。(保温時間は、最初に沸き上げた時から4時間となります。)〕

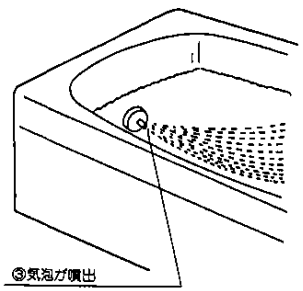
●全てのランプが消灯します。

気泡入浴（泡ぶろ）とは
●風呂アダプターより、無数の細かな気泡が噴出します。この噴流は、皮膚を刺激し、疲れをいやしてくれます。
●気泡用入浴剤（気泡調整剤入り）は、使用しないでください。

1 「気泡スイッチ」を押します。

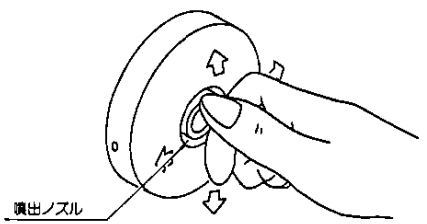
●「気泡ランプ」が点灯し、ポンプが運転をはじめ、気泡を伴ったジェット噴流が出ます。

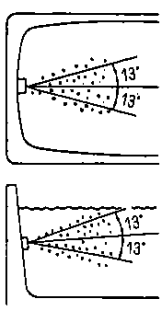




■好みに応じて噴出方向を調整できます。

●噴出ノズルは手で向きを変えることができます。好みの方向に向きを変えてください。向きは上下左右約13°変えることができます。

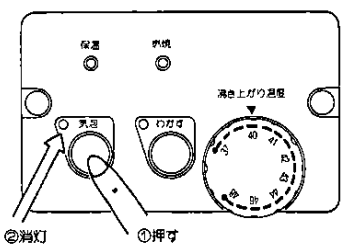


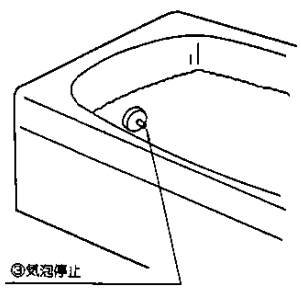


ご注意
- 気泡運転中に噴出ノズルをふさぐと、器具の下部から水が出ます。気泡運転中は噴出ノズルをふさがないでください。
- 噴出ノズルから勢いよく湯が噴出していますので、小さなお子様が噴出ノズル付近にいるときはご注意ください。
- 15分間泡ぶろを使用すると泡ぶろは自動的に切れ、「気泡ランプ」も消灯します。
- わかす運転中でも「気泡スイッチ」は使用できますが、50℃前後の噴流が噴出ノズルから出ますので噴出ノズル付近はご注意ください。

2 気泡運転を途中で停止したいとき「気泡スイッチ」を再度押します。

- 「気泡ランプ」が消灯し、ポンプが停止して気泡の噴出も止まります。





ご注意
- 気泡浴は熱いおふろに入ったのと似た効果がありますので、お湯の温度にご注意してください。
- 長時間気泡浴をするとのぼせたり、かえって疲れを感じたりすることがあります。
- 気泡運転をすると若干おふろがさめやすくなります。(特に冬期)

冬季の凍結による破損予防の方法は

器具が凍結すると、器具が使用できなくなるばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
この機器の凍結予防方法は、次の2つのケースで行なっています。

① 通常のとき
② 長期不在のとき

1 通常のとき

この器具には、気温がさがってくると自動的に浴そうの水(湯)を循環して器具内や追焚配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。
通常は器具の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、器具内の凍結は、予防できます。

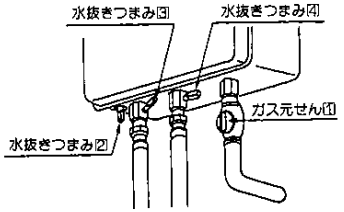
- 外気温が4℃以下になりそうなときは、浴そうの残り湯はすてないで、そのままにしておいてください。

ご注意
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
  抜けていると作動しませんので注意してください。

ご注意
- 凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温マイナス15℃程度までですので特に寒い時や急な寒波などが予想されるときは、「長期不在のとき」による凍結予防の処置を行ってください。
- 器具内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

2 長期不在のとき（水抜き方法）

●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。

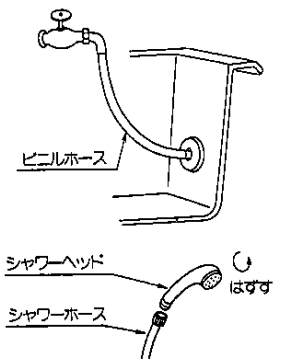


① 浴そうの水を排水します。
② リモコンの「気泡スイッチ」を押し（気泡ランプ、点灯）、風呂アダプターより水が出ることを確認して5分程そのままにします。
③ 上記の排水の完了を確認します。
④ ガス元せん 1 をしめます。
⑤ 水抜きつまみの 2 3 4 をあけます。

※水抜きの操作を行なった後は浴そうに水を流し込まないでください。

●再度使用するときは、次の方法で行なってください。
① 水抜きつまみの 2 3 4 をしめます。
② ガス元せん 1 をあけます。
③ 電源プラグを入れます。

●凍結予防や長期間使用しない場合等で水抜きを行なったときは、次の方法で水張り（呼び水）を行なってください。
① 浴そうの風呂アダプターの噴出ノズルにビニルホース(市販品：呼び15㎜)を差し込む。
② 水道水を流し風呂アダプターから水が連続的に出るまで呼び水を行なう。
- ●水道水を勢いよく流しますと、器具の下部から水が流れることがありますが、故障ではありません。
- ●浴そうの近くにシャワーがあるときは、シャワーのヘッドを外し、シャワーホースで水を流しこんでください。



凍結したときは

- ●凍結した場合、ガス元せんを閉め、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。凍結したまま運転操作をしますと器具に異常が生じる場合があります。
- ●器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

点検・お手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行ないましょう。

点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

- ●器具および配管より水漏れはありませんか？
- ●器具および配管よりガスの臭気はありませんか？
- ●運転中に器具から異常音が聞こえませんか？
- ●器具の外観に異常は見られませんか？
- ●器具のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？

ご注意
- ●前板をはずしたり、分解したりしないでください。

お手入れのしかた

- ●お手入れは、ガス元せんを閉め、電源プラグを抜き、器具が冷えてから行ないます。

器具本体のお手入れ

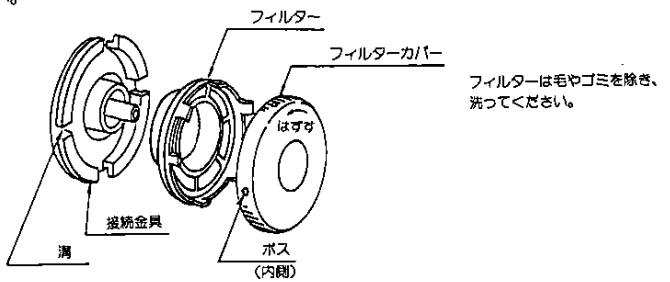
- ●器具本体のお手入れは特に必要ありません。もし器具本体の汚れがひどいときや、リモコンの表面をお掃除するときは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ります。

ご注意
- ●洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは、ふかないでください。

フィルターの洗浄について

●浴そうをおそうじするときはフィルターもそうじしてください。フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。フィルターの汚れがひどいと気泡の噴出が弱まったり、ひどいときには追焚きもできなくなります。

●フィルターカバーを外すときには、左に少し回してから手前に引いてください。
●取り付けるときはフィルターカバーのボスを接続金具の溝に合わせて押し込み、右に回してください。



フィルターは毛やゴミを除き、洗ってください。

ご注意
フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターをつけないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。

●定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
●ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあります。ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元せんを閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

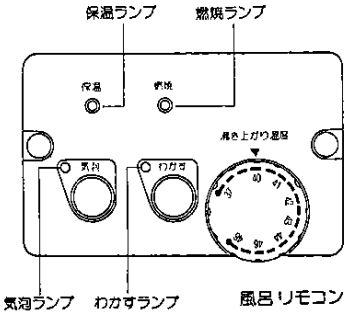
次のことを調べてください

現　象	点検項目	
「わかすランプ」「気泡ランプ」が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	(8ページ)
	停電していませんか	(5ページ)
「燃焼ランプ」が点滅する	「わかす」スイッチを一度押し、約3秒後、もう一度押してください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。	
「燃焼ランプ」が点灯しない	ガスせんが全開になっていますか	(8ページ)
	浴そうに水が入っていますか	
おふろ使用中に消火した。	ガス元せんが全開になっていますか	(8ページ)
浴そうの水があつい（ぬるい）	ふろ温度のセットは適切ですか	(10ページ)
泡が出ない（少ない）	フィルターはきれいになっていますか（浴そう）	(17ページ)
運転終了後もしばらくポンプが回る	「わかす」「気泡」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。	
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。	
冬期など寒いとき、ポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプの自動運転を行ないます。	
保温中ときどきポンプが回る	浴そうのお湯の温度を検知するため30分毎に回ります。	

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、ご自身で修理なさらないでお買い求めの販売店またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。

●この器具の風呂リモコンには自己診断機能がついています。
器具が故障すると「わかすランプ」「気泡ランプ」「保温ランプ」「燃焼ランプ」のいずれかが、単独または複数点滅します。
●ランプが点滅したときは、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社に修理を依頼してください。

アラーム表示	原因
わかすランプ 気泡ランプ 同時点滅	風圧スイッチ断線・短絡
気泡ランプ点滅	フロサーミスタ断線・短絡
燃焼ランプ点滅	着火ミス、残火、擬似炎検出
燃焼ランプ 保温ランプ 同時点滅	失火
わかすランプ点滅	水流スイッチ断線（水なし）
わかすランプ 燃焼ランプ 同時点滅	水流スイッチ短絡
保温ランプ点滅	電磁弁駆動回路 空焚スイッチ作動
気泡ランプ 燃焼ランプ 同時点滅	リモコン通信不良



●安全装置の種類とその働き

●この器具には次の様な安全装置が組み込まれています。

●立消え安全装置…バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的にストップします。

●空だき安全装置…風呂熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的にストップします。

●過熱防止装置…器具内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき、作動し燃焼を自動的にストップします。

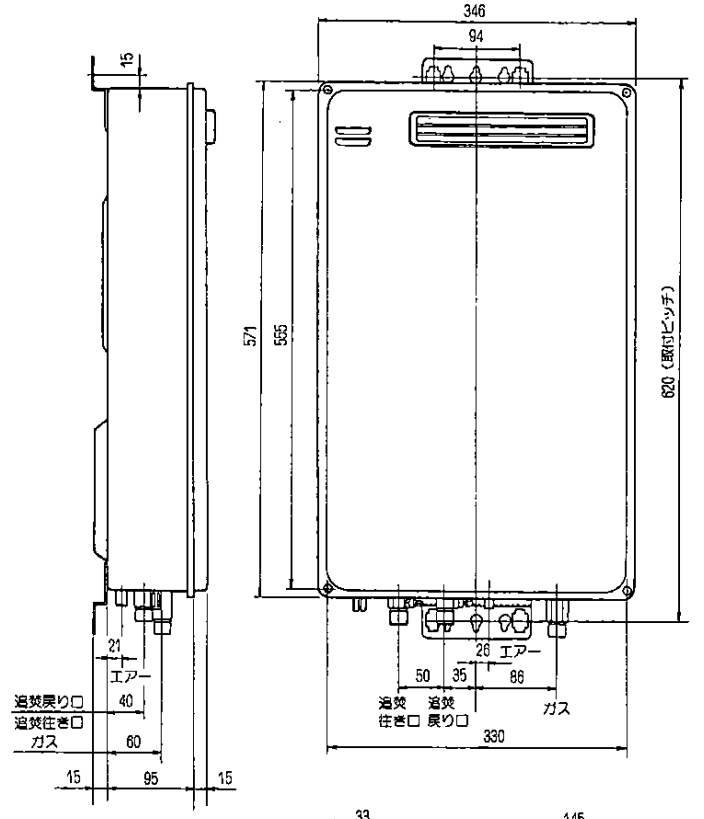
●送風検知装置…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的にストップします。

●漏電安全装置…万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。

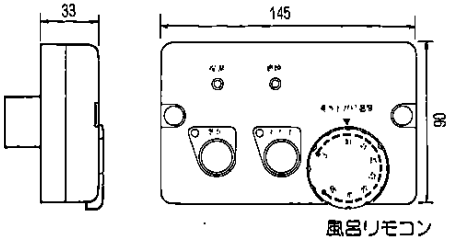
●凍結予防装置…器具内の雰囲気温が低下すると作動し、器具内の凍結を防止します。

寸法図

■器具本体 （単位：mm）



■風呂リモコン （単位：mm）



仕様

品名			31-009型	
ガス種			LPG	(13A)
外形寸法(mm)			幅346×奥行110×高さ571	
標準インプット			1.0kg/h	12,000kcal/h
沸き上がり時間(浴そう水量180ℓの場合)		春・秋(15→40℃)	30分	30分
		夏 (25→40℃)	18分	18分
		冬 (5→40℃)	42分	42分
温度調節			温度設定可変型	
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
材質	本体外装/塗装		溶融亜鉛メッキ鋼板/溶剤焼付塗装	
	排気部/給気部		ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板	
	熱交換器/バーナ		脱酸銅/ステンレス鋼板	
接続	ガス		15A(R1/2)オネジ	
	追焚往き・戻り		15A(R1/2)オネジ	
	エア		φ9	
電気関係	電源		AC100V(60Hz)	
	リモコン		24V以下	
	消費電力	無負荷時	3W	
		わかす運転	182W	
		気泡運転	155W	
		同時運転	187W	
		凍結予防	ポンプ運転150W(または電気ヒーター32W)	
安全装置			空だき防止装置(水流スイッチ) 空だき安全装置(バイメタル) 送風検知装置(風圧スイッチ) 凍結予防装置(ヒーター又はポンプ運転) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 漏電対策装置(漏電リレー) 過熱防止安全装置(温度ヒューズ) 誘導器保護装置(サージアブソーバー)	

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき

保管とアフターサービス

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

(1)ガスの元せんを閉じる。

(2)電源プラグを抜く。

(3)器具の水抜きを行なう。〔水抜き方法は15ページを参照してください。〕

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
2. 品名……31-009型(右のようなラベルを器具の前板右下部に貼付けてあります。)
3. 現象……できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

(N)31-009(U)
大阪ガス株式会社 01

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●このガス風呂釜には保証書がついています。

●保証書に記載のように、ガス風呂釜の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切後6年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。